

東御市発進

「東御市発進」

カウンタダウンイベントが終了してから数時間後、市役所本庁、北御牧総合支所では、開庁・開所式が行われました。その様子などをお伝えします。

本庁舎開庁式式辞

(要約)

本日4月1日、東部町と北御牧村が合併して東御市が発足しました。そしてここに東御市役所本庁舎開庁式が挙行できますことは真に感慨深く身の引き締まる思いであります。

今日、社会は激動に次ぐ激動に揺れています。国際情勢は、湾岸地域、北朝鮮に見られるように緊張の度合いを深める一方、国内情勢は、景気回復の予兆が感じられるとはいえ、まだまだ厳しい状況が続いており、地方自治体を取り巻く状況も、国の三位一体改革など、ますます厳しい時代を迎えています。

そのような環境の中、地方分権を進めるとともに市町村も自らその行財政基盤を強化することが求められています。東部町と北御牧村はそれぞれの町村で合併についての検討を重ね、住民の意見をまと

めた結果、お互いを合併のパートナーとして選択し、平成14年の10月1日に第1回の合併協議会を開催、それから1年半の間合併協議を積み重ねてきました。

昨年8月20日の合併調印からわずか7カ月という短い期間の合併から、すりあわせ業務は今後も更に調整していく箇所もあります。また、一市二制度のままスタートをする部分もありますが、東御市のまちづくりの基本理念「さわやかな風と出会いの元気発信都市」を旗印に、これまでの合併協議の成果を踏まえ、さらに充実した制度ができるよう、市民、職員の皆さんの英知を結集して行っていただきたいと考えております。

両町村の歴史的経緯、風土、自然文化はそれぞれ豊かであり町づくり、村づくりに大変熱心に先進的に取り組んできました。そして共有する価値観を持ち、生活圏域の共通性

もあり多くの人々の交流や人脈のつながりをもってあります。お互いの持つ特色を大事にしながら、東御市となったメリットを生かし将来に亘って継続していける行財政の確立を図り、分権時代に相応しい市民参加の協働のまちづくりを進め市民の幸せと市勢の進展を目指すものです。

今日まで作り上げて来た、進んだ町づくり、特色ある村づくりの財産を引き継いで、30年後、50年後といった次の世代に安心して暮らせるまちを準備するものであります。私達は今その重要な責務の地点に立ったのであります。新たな時代の幕開け、東御市は今、市民の皆さんと共に手をつなぎ元気に第一歩を踏み出すことができました。知恵を出し、力を合わせることで大仕事ですし、これからが本番です。市民の皆さまのご協力をお願いいたします。

市長職務執行者 岩下忠善

テープカット・くす玉開披のようす

